

将来のくらし【灘手地区】を考える

※回収分(20人)

①地区の状況はどうか(■元気が・・・)

項目	理由
とてもある	・行事等、参加者が多く活気づいている。
	・ふるさとの空。
ある	・公民館行事がたくさん計画され、交流が盛んである。(多数意見あり)
	・地域で子どもを育てていこうとする土壌がある。
	・上からの話が、部落におりてきやすい。
	・少人数ならではの団結力。
ややない	・負担が多く、元気がない。
	・ふるさとを子どもに作ってあげたいので住んでいるが、地域にあまり魅力を感じない。
	・少子高齢化。

②学校の現状について(■児童が・・・)

項目	理由
とても活発	・一人ひとりが自分の意見を言える。
活 発	・元気にあいさつをする。
	・個人差はあるが、自主的に取り組む姿がある。
ややおとなしい	・言われたことはやろうとするが、自分から考えてどんどん意見を言ったり、行動したりしない。
	・企画する発想がない。
	・人数が少ない分、大きな事はしにくく、偏ってしまう。
おとなしい	・他校と一緒にあったときに、活発に発言が出来ない。

③小学校適正配置について気がかりな点について

項目	理由
学力 人間関係 集団活動	・保護者の関心のなさ。
	・少人数が良いと言えども、それなりの人数が必要。
	・グループが出来やすく、逃げ場がない。
	・体育など出来る競技が限られてしまう。切磋琢磨する力は弱い。
	・固定になり、考えを合わせないといけない雰囲気になると思う。
	・人間関係が濃いので良いのではないか。

地域の 衰退化	・子どもとの交流がなくなる。
	・学校行事など、祖父母が参加しにくくなる。
	・地域との繋がりが弱くなってしまわないか。接する機会が少なくなる。
その他	・保護者と地域住民で意見の擦り合わせをしてみたい。
	・登下校の心配。スクールバスなどにしても小学1年生などは危ないのではないか。

④解決する手がかりについて

・人口、子どもを増やす。
・出席者を増やし関心を高め、ディベートをする。
・定住化(空き家対策)。
・多人数の中でもまれる。
・子どもを衰退化の理由にしないほしい。

⑤小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

・地域のことより、子どものことを話し合う。
・具体的な内容の提示(交通手段・心のケア・授業について理解度の把握・2人担任制)
・通学方法、安全面について。
・地域の衰退化について。
・子どもを見て未来を考える(子どもがいない不安)。
・分校案。
・最小限の適正人数(保護者が望む人数と、教員が思う差は、どこからくるのか。)

将来のくらし【灘手地区】を考える

く

①地区の現状はどうか

■元気が

(とてもある・ある・ややない・ない)

理由：

ら

②学校の現状について

■児童が

(とても活発・活発・ややおとなしい・
おとなしい)

理由：

し

③小学校適正配置について気がかりな点について

(学力・人間関係・集団活動・地域の衰退化・計画のスピード・財政面・その他)

理由：

よ

④解決する手がかりに
ついて

(①～③の課題・問題点を
解決する方法など)

し

⑤小学校適正配置協議会で
話し合うべき内容



住みたい灘手地区